

佐野熊次郎さん(地方自治功労)ら9人が受賞

第2回富士市長表彰

富士市表彰条例にもとづく、第2回市長表彰が11月1日、吉原市民会館で行なわれました。

表彰を受けたのは、地方自治の発展に功績のあった、佐野熊次郎さんら次の9名の人です。

地方自治功労



警防団長、教育委員など各種の公職を歴任され、この間、県製紙工業試験場や吉原保健所、吉原職業定安所の誘致に大きな貢献をされました。また、吉原不燃化都市建設促進協議会を結成し、今日の吉原本町商店街繁栄の基礎づくりに尽くされました。



(吉原アサコさん
58歳)

社会福祉功労

昭和21年から富士育児院（現芙蓉会乳児院）の保母として、22年の長きにわたり、社会から見捨てられた乳児の保育に献身されてきました。その保育ぶりは、また施設の保母としての模範です。

産業功労



昭和11年に明治製紙株式会社を設立してから、一貫して地域産業の発展に貢献されました。この間、県ちり紙工業組合理事長、全国ちり紙工業組合理事長などの要職を歴任し、ちり紙生産の実績をあげ、郷土産業の発展に寄与されました。



(鷹岡本町二
75歳)

昭和26年に鷹岡町婦人会長、同未亡人会長におされてから、地域の婦人会および未亡人会のために活躍してきました。さらに、昭和31年に富士郡未亡人会長、昭和41年には県母子福祉会長の要職を歴任し、会員の生活向上と更生指導に尽くされてきました。

昭和30年に丸富製紙株式会社を設立してから、洋紙、板紙にくらべて立ち遅れている白ちり紙の改良、生産向上につとめました。ちり紙抄造技術に着手し、新しいパルプの蒸解工法、経済的合理的な化学粘剤の使用法などを研究されました。



(伝法町二
61歳)

水火災防護功労

昭和22年に伝法水防組員になってから21年間にわたり、本市の水防のために尽されてきました。特に、台風期の水害に対しては、身の危険をかえりみず、災害救護と組員の指揮にあたってきました。



(鷹岡本町一
67歳)

岳南2市1町合併にいたるまでの20年の長い間、消防団の副団長、団長など幹部としての要職を歴任し、団員の資質向上と団結力の育成につとめてきました。また、地域消防の強化に貢献されました。

保健衛生功労

43年間にわたり料理旅館業を経営し、この間、昭和21年に吉原料理旅館業組合長に就任。食品衛生の向上、食中毒および消化器による伝染病予防のため、吉原食品衛生協会を設立して初代会長に就任し、環境衛生の向上に積極的な活動を続けてきました。



(蓼原
61歳)

昭和7年に消防団員になってから岳南2市1町の合併にいたるまで、34年余りの長期にわたり災害防護にあたってきました。強い責任感と奉仕の消防精神は団員の模範でありました。



昭和30年に丸富製紙株式会社を設立してから、洋紙、板紙にくらべて立ち遅れている白ちり紙の改良、生産向上につとめました。ちり紙抄造技術に着手し、新しいパルプの蒸解工法、経済的合理的な化学粘剤の使用法などを研究されました。



43年間にわたり料理旅館業を経営し、この間、昭和21年に吉原料理旅館業組合長に就任。食品衛生の向上、食中毒および消化器による伝染病予防のため、吉原食品衛生協会を設立して初代会長に就任し、環境衛生の向上に積極的な活動を続けてきました。